

# 碓井っ子

う・運動大好き うすいっ子  
す・すなおな心の うすいっ子  
い・いっぱい学ぶ うすいっ子



令和元年10月31日 校長 藤井 久仁子

## 子どもたちにつけたい力・・・

日本でラグビーワールドカップが行われています。日本代表選手は勿論、他の国の選手たちの試合に向かう気持ちや実際のプレー、そして試合後の選手たちの態度に多くの方が心を揺り動かされています。日本代表は、すべてを犠牲にして、世界一の練習量をこなしたと聞きました。結果は、みなさんもお存じの通りに目標のベスト8を達成しました。

2年生が生活科の学習で、地域の皆さんに来ていただき、いろいろなお話を聞いています。地域のため、学校のため、子どもたちのために様々な活動を続けておられる方、自分の夢の実現のために長い間、努力を続けてこられた方などから、生き方を学んでいます。

子どもたちの将来につながる力として「真面目に努力できる力」「協力できる力」「やり抜く力」「素直な心」「感謝の心」などの能力がとても大切だと言われています。

ラグビーの話に戻りますと、日本開催のこの大会では、選手ではない一般の人たちの姿も称賛されています。それは、「人としての温かさ」を感じさせる行動が、海外の人たちの心にも届いているからだと思います。台風19号の爪痕が残る千葉県で、ボランティア活動に取り組んでくれた選手たちもいます。ありがたいことです。「まわりの人を尊重したり、大切にしたりする行動」がとれる人は、困ったときにまわりの方が助けてくれます。これも大切な能力の一つです。

11月は人権学習や人権集会があります。人権について一人一人が学び、考え、行動につなぐことで、碓井小学校がよりよい学校になるようにしていきたいと思っています。ご家庭でも、子どもたちの人権についての学びが、行動につながるようにご指導をお願いします。



## 全国学力・学習状況調査の結果をお知らせしています

裏面に、本校6年生が4月に受けた全国学力・学習状況調査の結果についてお知らせしています。昨年度まで、国語A・算数A(主として「知識」に関する問題)、国語B・算数B(主として「活用」に関する問題)に問題が分かれていましたが、本年度からは国語・算数となりました。



## 秋も深まってきました・・・

校庭の葉も色づき、秋の気配を感じる今日この頃です。この時期は、快適な晴天の日が続き、「天高く馬肥える秋」とか「読書の秋」「芸術の秋」「スポーツの秋」などと呼ばれ、様々な活動に適した時期です。

さて、10月6日(日)に開催しました大運動会では、多くの皆様にご観覧いただきました。ご支援、ご協力ありがとうございました。当日は、運動会に適した気温になり、最後までたくさんの皆様に見守られながら、精一杯の演技を披露する子どもたちの姿は、とても誇らしげに見えました。お世話を下さったPTAの役員・専門委員のみなさん、ありがとうございました。

朝晩と昼間の気温差が大きいこの季節は、体調を崩しやすくなりがちな時期でもあります。ご家庭では、子どもたちの体調管理をお願いするとともに、規則正しい生活リズムの維持をお願いします。



## 《12月の主な行事予定》

- 2日(月) 4年チャレンジテスト開始日
- 3日(火) 委員会活動
- 10日(火) 代表委員会
- 13日(金) 移動図書館来校
- 18日(水) 19日(木) 20日(金) 個人懇談会
- 23日(月) 給食終了
- 24日(火) 終業式 大掃除



## 11月の行事予定

日	曜	主な行事予定
1	金	秋の遠足
2	土	
3	日	文化の日
4	月	振替休日
5	火	委員会活動⑥ PTA総務委員会 15:30 読書月間(～29日) 読書郵便(～11日)
6	水	ALT 読み聞かせ(中学年)
7	木	
8	金	移動図書館来校
9	土	
10	日	
11	月	体力アップ週間(～16日) 生活アンケート週間(～15日)
12	火	代表委員会⑥ 低学年ふれあい集会 読書ビンゴ(～29日)
13	水	ALT 読み聞かせ(低学年) 中学年ふれあい集会
14	木	避難訓練 高学年ふれあい集会
15	金	特別校時(全校 13:10 下校)
16	土	
17	日	
18	月	
19	火	川筋太鼓③④ 学習参観⑤ 親子で学ぶ規範意識(6年) 学級懇談会⑥ 全国学テ報告会
20	水	ALT 読み聞かせ 人権ひまわり種とばし(3年)③④
21	木	コーディネーション(1・2・3年)
22	金	クラブ活動⑥ ひまわり学級社会科見学
23	土	勤労感謝の日
24	日	
25	月	性教育週間(～29日)
26	火	読書ビンゴくじ引き(低学年)
27	水	ALT 読み聞かせ 読書ビンゴくじ引き(中学年)
28	木	読書ビンゴくじ引き(高学年) 人権集会リハーサル
29	金	人権集会③④ 3年学年PTA活動⑤⑥
30	土	

## 1.調査目的等

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。  
 そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。  
 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

## 2.学校ごとの指標

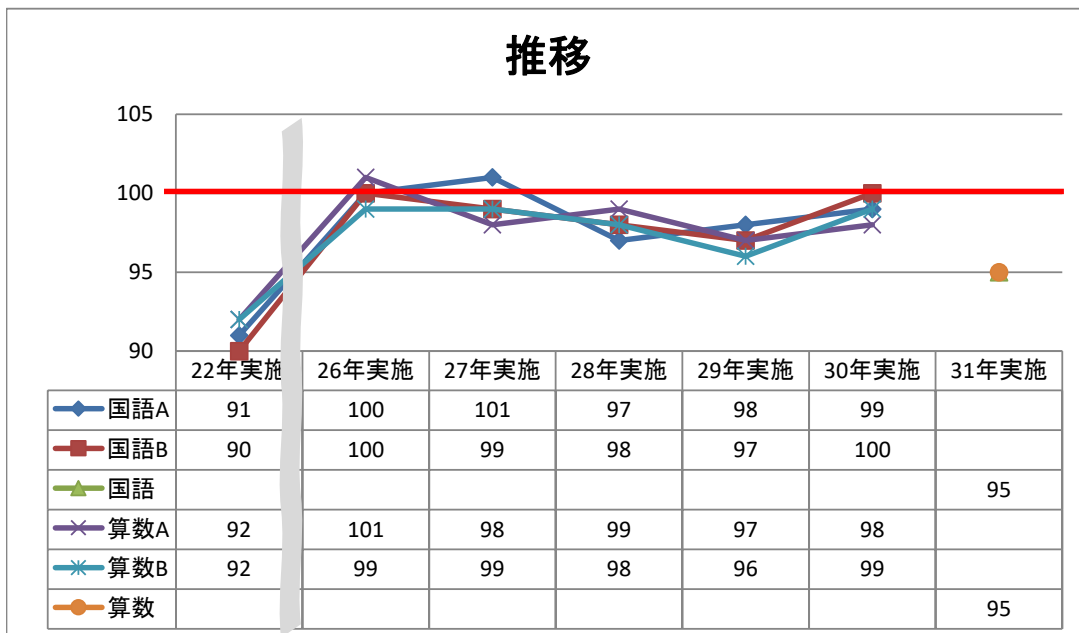
【短期指標】  
 【国語】標準化得点100  
 【算数】標準化得点100

## 3.指標に向けての取組

- 授業改善(「対話しながら、自分の考えを高める授業」を日々の授業づくりで積極的に実践する。)
- 習熟度別分割授業の実施(算数科の重要単元において、指導方法工夫改善教員による習熟度別分割授業を実施する。)
- 家庭学習の充実(課題克服のために、児童の実態や調査結果をもとにした家庭学習の問題選定や補充学習による個別指導の充実に努める。)
- 家庭との連携(基本的生活習慣の確立と家庭学習・自学の習慣化をめざす。)

## 4.調査結果(全国の平均正答数を100としたときの文科省標準化得点)

	国語	算数
本校	95	95
嘉麻市	98	97
全国	100	100



※ 平成31年度実施から「知識に関する問題(A問題)」と「活用に関する問題(B問題)」を一体的に問う形式に変更

## 5.各学校における分析

国語、算数ともに、指標100を達成することができなかったが、5年生のときの福岡県学力調査の標準化得点からの推移を見ると、国語では約17ポイント、算数では約15ポイントの伸びが見られた。

学力アップ教員を5年生算数科において活用したことで、年間を通して、複数体制で指導を行うことができたことや算数科において、重要単元を設定し、指導方法工夫改善教員による習熟度別分割授業を実施したことが、成果につながったと考える。指標達成に向けて、指導方法工夫改善による習熟度別分割授業の数を増やし、さらに学力の底上げを図る必要がある。また、主題研究を日々の授業改善につなげるとともに、すべての教科等において、自分の考えたことを表現したり、友だちに説明したりする学習活動を位置づけ、充実させる必要がある。

家庭学習については、「家庭学習系統表」をもとに、家庭学習の内容と量を確実に実施するとともに、全国学力・学習状況調査の過去問題に取り組んだことが成果につながったが、問題選定や補充学習による個別指導をより充実させていく必要がある。また、基本的な生活習慣である「早寝」については、県の平均を下回っており、家庭との連携を深めていく必要がある。

「全国学力・学習状況調査」について

【国語】

目的に応じて、本や文章全体を概観して効果的に読む問題の正答率が高かった。

目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く問題、学年別漢字配当表に示されている漢字「関心」を文の中で正しく使う問題の正答率が低かった。

【算数】

長方形を直線で切ってきた図形の中から台形を選ぶ問題、棒グラフから、資料の特徴や傾向を読み取る問題の正答率が高かった。

示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を記述する問題の正答率が低かった。

## 6.各学校における今後の取組

○ 授業改善では、「問いづくり・思考づくり・価値づくり」のある授業を日々の授業で実践する。学期末児童アンケート項目「交流することで自分の考えが深まった。」において4段階評定尺度3.5以上をめざす。

○ 算数科において、毎時間TT授業を実施し、きめ細かな指導を行うとともに、重要単元において、全学年学期に1回習熟度別分割授業を実施する。

○ 課題克服のために、児童の実態や調査結果をもとにした家庭学習の問題選定や補充学習による個別指導の充実を努める。

○ 基本的な生活習慣の確立、家庭学習・自学の習慣化に向けて、家庭との連携をさらに深める。

## 7.嘉麻市教育委員会としての今後の取組

各学校が自校の課題を明確にするとともに、嘉麻市アクションプラン、嘉麻市学力向上全体構想をもとにした学力向上策を浸透・徹底させていくために、次の7点を中心に取組を進める。

○ 学力向上プランを各教室に浸透・徹底させるためのPDCAサイクルについて指導助言を行う。

○ 学力向上を図る上で効果のあった取組について共有化を図る研修を企画・運営する。

○ 基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図ることができるよう、指導と評価の一体化を図る即時評価の取組を奨励したり単元終末段階における習熟度別学習の取組を支援したりする。

○ 校内研修や学校訪問において、思考力を発揮させ最善解を導き出す「かく力」を育成するための指導助言を行う。

○ 学力向上に向けた取組が組織的・計画的に実施できるための指導助言を行う。

○ 家庭学習の習慣化、個別化に向けた取組についての指導助言や支援を行う。

○ 主幹教諭研修会において、それぞれの学校種の課題に即応する研修内容を工夫する。